

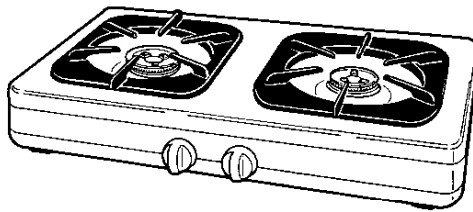
# ガステーブルコンロ

## 10-841/842型

型式名 RTS-2NE

も く じ

### 取扱説明書



#### ごあいさつ

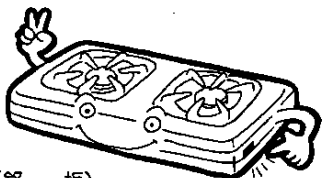
このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

●必ずお守りください.....	1・2
●ご使用にあたって ●各部の名称.....	3
●器具の設置.....	4
●使用方法.....	4
●日常の点検・手入れ.....	5
●アフターサービス.....	5
●故障・異常の見分け方と処置方法.....	6
●仕 様.....	6

# 必ずお守りください

## ガスの種類を確かめる

- 器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。銘板は器具の右側面に貼ってあります。



(銘板)

メーカー形式

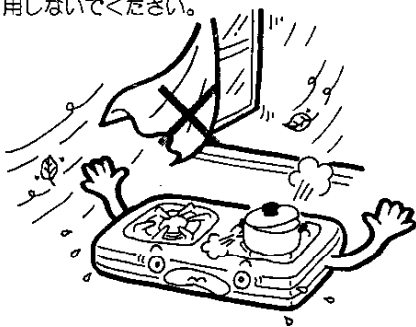
ガスの種類およびグループ

ガス消費量  
製造年月および製造番号  
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

## 使用場所について

- 強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



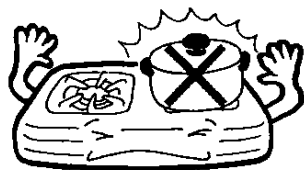
## 用途について

- 調理以外の用途(炭・練炭おこし・衣類の乾燥など)には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



## 市販の補助用具について

- 極端に大きな鉄板や鍋、熱を逃がさないようにするための鍋枠などは、使用しないでください。不完全燃焼をおこしたり、器具の異常過熱の原因になります。

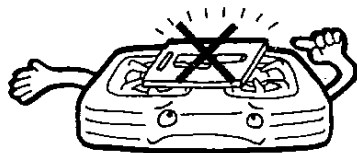


- しる受け皿の上に市販の「アルミ製しる受け」を敷いてお使いになりますと点火穴、立消え安全装置用の穴をふさいだり、バーナーの炎に触れて点火しなくなったり不完全燃焼の原因となりますので絶対に使用しないでください。



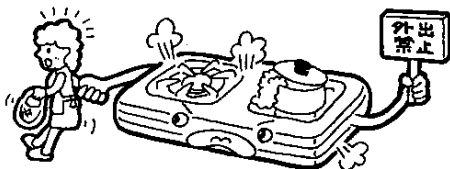
## 火災予防について

- 器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。



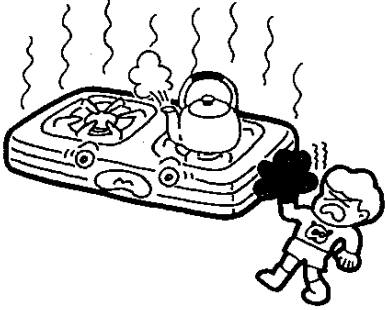
## 使用中の外出について

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。



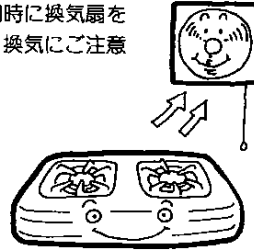
## やけどの注意

- 使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、器具栓つまみ以外はさわらないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



## 換気について

- ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気にご注意ください。



## 異常時の処置

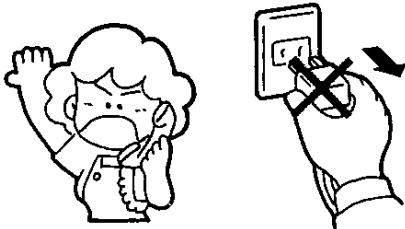
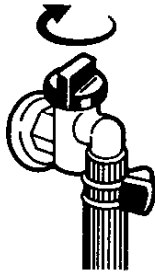
- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、ただちにご使用を中止（器具栓、ガス元栓を閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。（「故障・異常の見分け方と処置方法」については）6ページをお読みください。

## ガス事故防止

- お出がけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。

- ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。（古くなったゴム管は取り替えてください）

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部開けて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたりしないでください。（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）火や火花で引火し、爆発事故などをおこすことがあります。

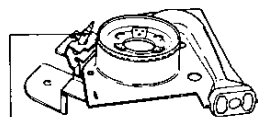
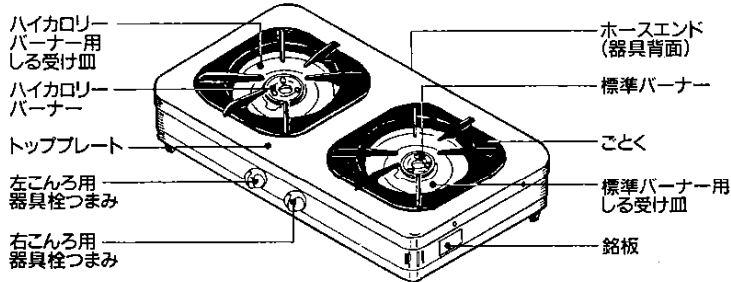
## 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。（詳しくは、5ページ「日常の点検・手入れ」の）項をお読みください。
- トッププレートは簡単に取りはずせません。取りはずす場合は、ごとく、しる受け皿などを取りはずした後、器具側面の右・左いずれかのコーナー部を上へ持ち上げてください。取り付けるときは、四隅を確実に押さえつけてください。
- 故障、または破損したと思われるときは使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

## 長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱の中にがたつかないように正しく入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
- 特にガスの通路部分（ホースエンドなど）には、ほこりが入って通路を詰まらせないよう、ホースエンドにキャップなどをしてください。

# 各部の名称



立消え安全装置(炎検知部)  
 立消え安全装置は万一使用中のバーナーが消火すると生ガスの噴出を防ぐ構造になっています。

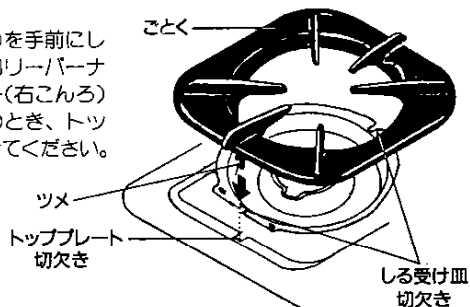
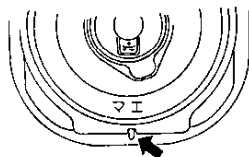
# 器具の設置

## 設置前の準備

■各部分のあて紙や梱包部材を取り除き、部品を確認してください。

### ●しる受け皿

トッププレートの上にガタつきのないように刻印(マエ)を手前にしてのせてください。内径の大きい方(H刻印)がハイカロリーバーナー(左こんろ)、内径の小さい方(S刻印)が標準バーナー(右こんろ)ですので間違いないように取り付けてください。そのとき、トッププレートの切欠きとしる受け皿の切欠きを必ずあわせてください。ズれていますとごとくが取り付けできません。



### ●ごとく

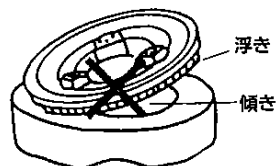
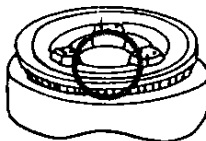
ごとくのツメをトッププレートとしる受け皿の切欠きにあわせ、ガタつきのないように差し込んでください。

### ●こんろバーナーキャップ

1. バーナーキャップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。
2. バーナーキャップは大きい方(H刻印)が左こんろに、小さい方(S刻印)が右こんろに間違いないように取り付けてください。

## ご 注 意

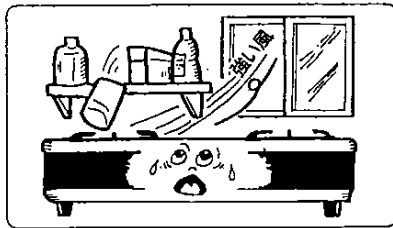
バーナー、バーナーキャップが正しくセットされていませんとバーナーの炎が不ぞろいになり、逆火などして危険です。正常に燃焼していることを確認してください。



## 設置場所および周囲の防火措置

### 設置場所

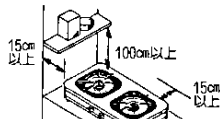
- 強い風の吹き込むところでは使用しないでください。風で吹き消されることがあります。
- 器具は丈夫で水平な場所に設置してください。
- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



# 器具の設置

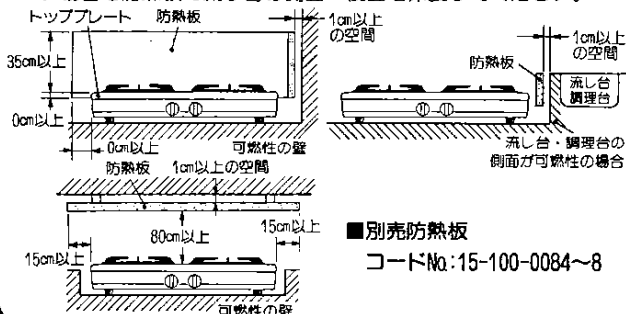
## ■設置場所の周囲に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合

器具の側面および背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離れた場所でお使いください。可燃性の壁にステンレス板などを取り付けてご使用になる場合も同様です。また器具の上方の天井、吊りどなど可燃性の部分との間は100cm以上離してください。防火構造の場合はその限りではありません。



## ■可燃性の壁から15cm以上（天井面は100cm以上）離せない場合

別売りの防熱板を図のように取り付けてください。調理台・流し台の側面・後面などが可燃性の器具のトッププレートより高い場合も防熱板で流し台の側面・後面を保護してください。



■別売防熱板  
コードNo.:15-100-0084~8

## 設置の方法

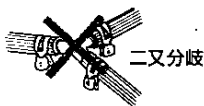
■ゴム管はできるだけ短かくし、折れ、ねじれ、引張りなどなく器具に触れたり、器具の下を通したりしないでください。



■ホースエンドの赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。



■継ぎだしや、二又分岐は行わないでください。



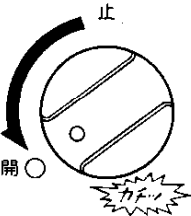
# 使用方法

## ご使用前の準備

■器具栓つまみが「止」の位置にあることを確かめ、ガス元栓を全開にしてください。

## 1. 点火

■器具栓つまみをいっぱい左へ「カチツ」と音がするまでゆっくり回し、数秒間そのまま保持してください。途中で手を離すと、立消え安全装置が作動して点火しなことがありません。



■器具栓つまみから手を離れたときに、火が消えた場合は保持時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返し器具栓つまみの保持時間を前回より長くし、ゆっくり手を離してください。

（ご注意）

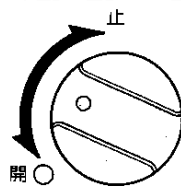
しばらく使わないで点火するときは、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は2~3回点火操作を繰り返してください。

## 2. 空気調節

■空気調節は適正な状態に固定してありますので、調節の必要はありません。

## 3. 火力調節

■器具栓つまみを「止」と「開」の間でゆっくり回して適当な炎に加減してください。



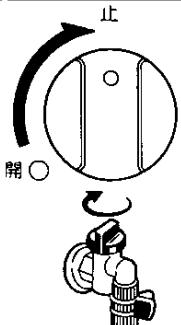
●弱火でご使用のときは、風などでバーナーの炎が消えやすいので、吹き消えに注意し、必ず燃焼していることを確かめてください。

## 4. 消火

■器具栓つまみを「止」の位置まで回すと、火が消えます。

■火が消えるときに「ボン」と音がすることがありますが異常ではありません。

■ご使用後は、消火を確かめたのち、必ずガス元栓を閉めてください。



# 日常の点検・手入れ

お手入れの前にはガス元栓を開め、器具が冷えてからお手入れをしてください。

■日常の点検・手入れは必ず行ってください。

■故障、または破損したと思われるときは使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

## 点 検

■器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

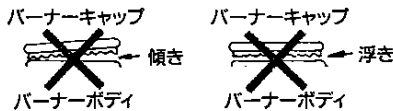
■ゴム管は

- 古くなってひび割れしたり、折れたりしていませんか。
- ゴム管が器具・ガス元栓ともホースエンドの赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。



■バーナーボディ・バーナーキャップ・ごとく・しる受け皿などが正しくセットされていますか。

■バーナーキャップは、傾き、浮きのないよう正しくセットされていますか。



■煮こぼれなどでバーナーが目詰まりしていませんか。

■トッププレートは正しくセットされていますか。

## お 手 入 れ

■こんろバーナー

- バーナーキャップを取りはずし、ブラシやキリ状のものでおそうじしてください。
- 目詰まりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。



※バーナーキャップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は、必ず乾いた布でじゅうぶん水気をとっておいってください。

■トッププレート・器体(前面は除く)

- 液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気をじゅうぶんふきとってください。

※器体前面の汚れは湿った布でふきとってください。

※トッププレートはホーローですので金属片、金タワシなどでこすらないでください。また固い物を当てたりしますと傷がつく場合があります。

# アフターサービス

## (1)点検・修理を依頼される前に

6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の頂を見てもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名……ガステーブルコンロ
2. 品 番……本体の左側面に貼付してあります。

例

(N)10-841 (U)

大阪ガス株式会社 07

3. 故障、異常の現象……できるだけ詳しく

4. お客様名、住所、電話番号

## (2)保証について

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されまらずと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

## (3)補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後6年です。

## (4)ガスの種類の異なる地域へ転居されるとき

ガスの種類は、LPガス、都市ガス（都市ガスには13種類あります）があります。ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でありましても有料となります。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用にあたって

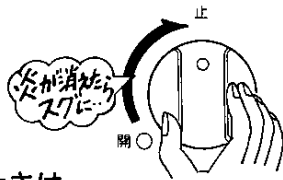
原因	現象	消火する ら手を離すと 器具栓つまみか	点火しない	着火しない バーナーに	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常音を たてて燃える	ガスの においがする	使用中に 炎が消える	処置方法	参照ページ
ガス元栓の開き不十分			●	●		●	●			ガス元栓を全開にする	4
ゴム管の中に空気が残っている			●	●						点火操作を繰り返す	4
点火操作が適切でない			●							正しい操作を行う	4
器具栓つまみの開き不足			●							器具栓つまみを全開にする	4
立消え安全装置が作動		●								「使用方法」の「点火」参照	4
立消え安全装置が故障		●	●	●						販売店に連絡する	-
ゴム管が折れている			●	●						ゴム管の折れを直す	5
バーナー・炎口の詰まり		●		●	●	●	●		●	バーナー・炎口を掃除する	5
バーナーキャップの取り付けが悪い		●			●	●	●			正しく取り付ける	3
ゴム管のひび割れ・穴あき					●	●	●	●		新しいゴム管と交換する	5
ゴム管の接続不完全			●					●		ゴム管の接続を確実にする	4・6

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

## 立消え安全装置が作動したときの処置方法

### 1. 使用中バーナーの炎が消えたときは

安全装置が作動して自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。(30秒~1分程度)消火に気づいたときは、すぐ器具栓つまみを「止」の位置にもどして消火の状態にしてください。



### 2. 再点火されるときは

周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待ってから「使用方法」に従って点火してください。

## 立消え安全装置について

次のような状態になったときは、立消え安全装置が作動し点火しないことがあります。

- 立消え安全装置の炎検知部に水滴や煮こぼれがつかると、点火しにくくなったり、バーナーの炎が消えることがあります。なべの底に付いた水滴はふきとってから、ごつの上のせてください。煮こぼれにも注意してください。
- 炎検知部に固いものをぶつけたりしないでください。(検知位置が変わると点火しにくくなります)
- バーナーを取りはずしたりするときに配線を引きつばりますと立消え安全装置の接続部がはずれ、点火しないことがあります。お手入れや器具の移動・設置にも注意してください。

# 仕様

品名	ガステーブルコンロ	使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (kcal/h)			ガス接続
			個々のガス消費量		全ガス消費量 (全点火時)	
品番	10-841 10-842	都市ガスグループ	ハイカロリーバーナー (左こんろ)	標準バーナー (右こんろ)		4900(1.16m <sup>3</sup> /h) 5250(0.50m <sup>3</sup> /h)
型式名	RTS-2NE	都市ガス用	6C 2800	13A 2300		
点火方式	圧電点火式	LPGガス (kg/h)	0.217	0.176	0.39	
外形寸法	高さ 幅 奥行 108mm×560mm×365mm					(単位: mm)
重量(本体)	4.8kg					
安全装置	立消え安全装置					
附属品	取扱説明書、保証書					

■ 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■

南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東2-9-41	TEL(06) 652-0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	TEL(06) 301-1251
南 部 支 社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	TEL(0722)38-1131
北 部 支 社	〒569	高槻市藤の里町39-6	TEL(0726)71-0361
阪 神 支 社	〒662	西宮市和上町4-11	TEL(0798)26-3101
東 部 支 社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	TEL(0729)62-1131
京 阪 支 社	〒573	枚方市西田宮町16-17	TEL(0720)41-1251
神 戸 支 社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	TEL(078)576-5231
京 都 支 社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	TEL(075)231-8151
奈 良 支 社	〒631	奈良市学園北2-4-1	TEL(0742)44-1111
和 歌 山 支 社	〒640	和歌山市本町1-5	TEL(0734)31-2481
姫 路 支 社	〒670	姫路市神屋町4-8	TEL(0792)85-2221
東 播 支 社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	TEL(0794)21-1801
豊 岡 支 社	〒668	豊岡市三坂町6-57	TEL(07962)3-2221
湖 南 支 社	〒525	草津市追分町字荒堀680-1	TEL(0775)62-5311
彦 根 支 社	〒522	彦根市大東町12-11	TEL(0749)22-3131
長 浜 営 業 所	〒526	長浜市南呉服町3-4	TEL(0749)62-7171
本 社 ガ ス ビ ル サ ー ビ ス セ ン タ ー	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)  
大阪ガス、サービスセンターにご連絡ください。